

# ギンイチモンジセセリ

チョウ目セセリチョウ科

*Leptalina unicolor* (Bremer et Grey)

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー 準絶滅危惧

## 選定理由

1992年から1994年にかけての3例の記録しかない。

## 形態

開張30mm程度の小型種。翅表は一律に黒いが、後翅裏面には、雌雄ともに鮮やかな銀色の線が1本入る。

## 国内分布

北海道から九州まで広く分布するが、全国的に減少している。

## 県内分布

中能登町石動山の宿坊跡地周辺で、1992年から1994年にかけて、毎年1個体が観察されているに過ぎず、その他の地域では全く観察されていない。

## 生態

ススキなどイネ科植物がある明るい草地に生息し、草上を弱々しく飛翔し、よく止まる。寒冷地では5月下旬から7月中旬に見られ、温暖地では、春型は5月上旬～6月中旬、夏型は7月下旬～8月下旬頃に見られる。幼虫は、ススキやチガヤ、エノコログサなどのイネの仲間を食べる。

## 生息地の条件

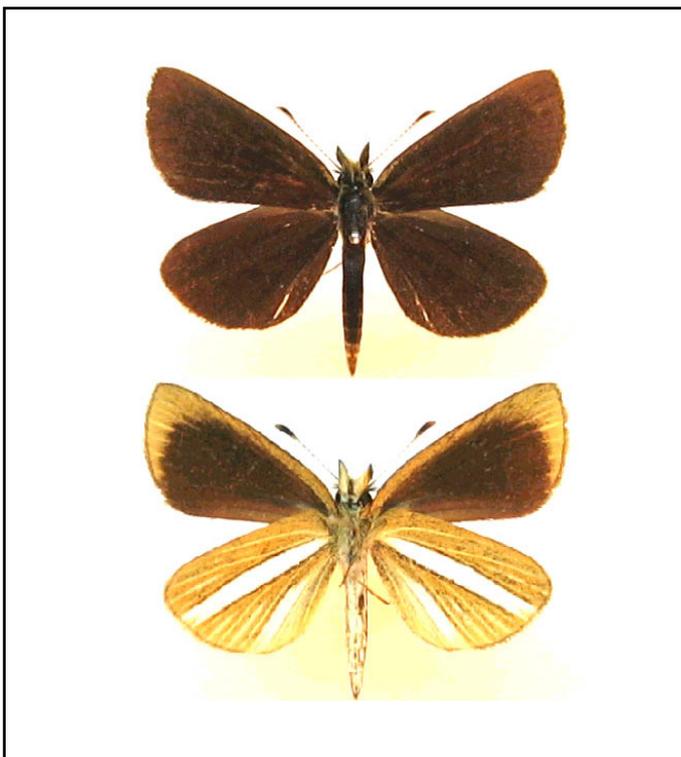
人為的に維持されている道路脇や耕作地周辺の小規模な草地。

## 生存の危機

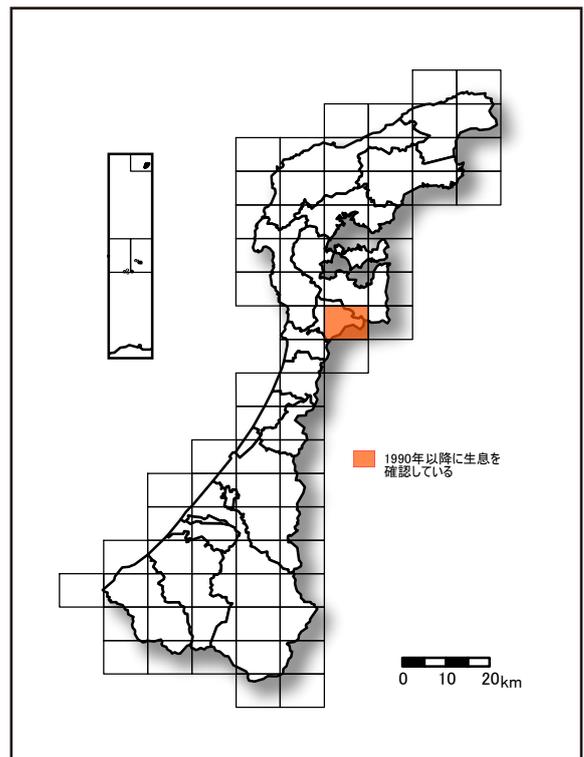
耕作地は放棄され、人為的に維持されてきた草地環境はほとんど消失している。

## 参考文献

福田晴夫ほか 1984. ギンイチモンジセセリ. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV) : 216-220. 保育社. 大阪.  
松井正人 1994. 石動山のギンイチモンジセセリについて. 翔, (107) : 1-2.



標本提供者: 松井正人



県内の分布